

Interop[®]26 Tokyo

■ 同時開催 ■

デジタルサイネージ ジャパン 2026
AI NATIVE EXPO 2026
画像認識 AI Expo 2026

最新のICTとそのソリューションを体感するインターネットテクノロジーのイベント Interop Tokyo 2026が2026年6月10日(水)～6月12日(金)に幕張メッセにて開催された。

一般展示は10:00～18:00(最終日のみ 17:00 終了)、また基調講演が国際会議場2Fにて2026年6月10日(水)～12日(金)9:30～(初日のみ Opening 9:15 開始)行われた。

主催: Interop Tokyo 実行委員会

運営: 一般財団法人インターネット協会／株式会社ナノオプト・メディア

特別協力: WIDEプロジェクト

後援: 内閣府宇宙開発戦略推進事務局、デジタル庁、総務省、文部科学省、経済産業省、千葉県、千葉市、独立行政法人情報処理推進機構(IPA)、独立行政法人中小企業基盤整備機構、独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ)、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)、地方独立行政法人山口県産業技術センター、公益社団法人日本通信販売協会、一般社団法人ICT-ISAC、一般社団法人IT 職業能力支援機構、一般社団法人宇宙エレベーター協会、一般社団法人LBMA Japan、一般財団法人草の根サイバーセキュリティ推進協議会、一般社団法人月面産業ビジョン協議会、一般社団法人建築設備技術者協会、一般社団法人高度IT アーキテクト育成協議会、一般社団法人JPCERT コーディネーションセンター、一般社団法人Generative AI Japan、一般社団法人集合住宅デジタル高度化協議会、一般社団法人首都圏産業活性化協会、一般社団法人情報サービス産業協会、一般社団法人情報処理学会、一般社団法人情報処理安全確保支援士会、一般社団法人情報通信技術委員会、一般社団法人人工知能ビジネス創出協会、一般社団法人セキュアIoT プラットフォーム協議会、一般社団法人測位航法学会、一般社団法人ソフトウェア協会、一般社団法人体験設計支援コンソーシアム、一般社団法人テレコムサービス協会、一般社団法人電気通信事業者協会、一般社団法人電子情報技術産業協会、一般社団法人東京ニュービジネス協議会、一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会、一般社団法人日本Web 協会、一般社団法人日本クラウド産業協会、一般社団法人日本クラウドセキュリティアライアンス、一般社団法人日本経済団体連合会、一般社団法人日本建築士事務所協会連合会、一般社団法人日本航空宇宙学会、一般社団法人日本サイバーセキュリティ・イノベーション委員会、一般社団法人日本シーサート協議会、一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会、一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会、一般社団法人日本設備設計事務所協会連合会、一般社団法人日本データマネジメント・コンソーシアム、一般社団法人日本デジタルトランスフォーメーション推進協議会、一般社団法人日本ドローンコンソーシアム、一般社団法人日本ネットワークインフォメーショ



ンセンター、一般社団法人日本ブロックチェーン協会、一般社団法人日本UAS 産業振興協議会、一般社団法人日本ユニファイド通信事業者協会、一般社団法人日本リモートセンシング学会、一般社団法人BICSI 日本支部、一般社団法人Fintech 協会、一般社団法人ブロックチェーン推進協会、一般社団法人北海道産学官研究フォーラム、一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム、一般社団法人ワイヤレス電力伝送実用化コンソーシアム、公益財団法人金融情報システムセンター、公益財団法人ソフトピアジャパン、一般財団法人全国地域情報化推進協会、一般財団法人デジタルコンテンツ協会、一般財団法人日本宇宙フォーラム、一般財団法人日本サイバーセキュリティ人材キャリア支援協会、一般財団法人日本サイバー犯罪対策センター、一般財団法人日本情報経済社会推進協会、一般財団法人日本データ通信協会、一般財団法人マルチメディア振興センター、GS1 Japan (一般財団法人流通システム開発センター)、特定非営利活動法人IT コーディネータ協会、特定非営利活動法人ITC ちば経営応援隊、特定非営利活動法人国際CIO 学会、特定非営利活動法人NPO 情報セキュリティフォーラム、特定非営利活動法人スキル標準ユーザー協会、特定非営利活動法人大学宇宙工学コンソーシアム、特定非営利活動法人日本システム監査人協会、特定非営利活動法人日本セキュリティ監査協会、特定非営利活動法人日本データセンター協会、特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会、特定非営利活動法人日本フォトニクス協議会、特定非営利活動団体ビジネスシステムイニシアティブ協会 (BSIA)、NPO 法人ロボットビジネス支援機構(Robizy)、IoT 検定制度委員会、アジャイルソフトウェア開発技術者検定試験コンソーシアム、宇宙サービスイノベーションラボ事業協同組合、XG モバイル推進フォーラム(XGMF)、ORIiN 協議会、次世代宇宙システム技術研究組合、JADOG (Japan Datacenter Operators' Group)、スペースICT 推進フォーラム、データセンタークロスアライアンス、東海情報通信懇談会、栃木航空宇宙懇話会(TASC)、日本セキュリティオペレーション事業者協議会(ISOG-J)、日本商工会議所、北海道ニュートピアデータセンター研究会、Media over IP コンソーシアム、モバイルコンピューティング推進コンソーシアム、ロボット革命・産業IoT イニシアティブ協議会、World Wide Web Consortium(W3C)

Interop Tokyo 実行委員会 実行委員長からのご挨拶 AI と インターネット の 次 章。～Internet for AI, AI for Internet. ～

2026 年、AI は「社会に浸透する」という段階を超え、私たちの生活や産業を支える不可欠な“OS（基盤）”となりつつあります。単体の生成AI 活用を越え、AI エージェントが業務システムやデータ基盤、現場の端末や機器と連携し、判断から実行までを支える動きが加速しています。問われるのはモデルの性能だけではなく、どのデータに触れ、どの権限で何を実行し、結果をどう検証できるのか——AI が社会の中で「動き続ける」ための設計と運用が重要になっています。

その中核を担うのがインターネットです。「Internet for AI」とは、計算資源を柔軟に結びつけ、エッジからエッジまで、またエッジからサービスまでをつなぐ高信頼・高速・低遅延のネットワークと、データ主権や安全性を担保しながら学習・推論を最適化する仕組みです。同時に「AI for Internet」は、可観測性、運用自動化、セキュリティ対応などをAI が担うことで、複雑化するインフラを止めずに進化させていく取り組みを指します。AI とインターネットは相互に強化し合い、共に進化する「次章」へと足を踏み入れています。

Interop Tokyo は、その名の通り「Interoperability（相互接続性）」を追求し、最新の機器・技術・サービスが「きちんと実稼動する」姿を体験できる場として歩んできました。新しい技術の登場は常に新しい課題を生みます。AI 同士、AI とサービス、AI と現場——多様な「実行主体」がインターネット越しに結びつく時代において、その接続性は価値の決定要因になります。Interop は、これからも課題を明確にし、参加者が解決に向けた議論と検証の場であり続けると信じています。

Interop Tokyo の場が、「今」直面する挑戦への答えに加え、次

の社会を見据えた「新しいインターネット」と「新しい市場」を体験できる場となり、参加者すべての新たな扉を開く場になることを楽しみにしています。

Interop Tokyo カンファレンス プログラム委員会 プログラム委員会議長からのご挨拶

今年のテーマ・セッションキーワード

AI が激変& 進化させるデジタルインフラ

～ AI 革命を支える使命を持つインターネット ～

Interop Tokyo は33 回目を迎えます。バイナリーで6 桁の時代に突入しますが、AI による大革命を迎える時代の幕開けです。21 世紀も第2 四半期を迎える2026 年、米国とイスラエルによるイランとの戦争は、すべての産業社会にエネルギー問題を再提示し、特に、AI で急激に成長・拡大・激変するデジタルインフラ基盤を支えるインフラの再設計・再構築が必要となりました。

「21 世紀の第2 四半期の社会」

では、すべての産業、すべての国、すべてのモノ、すべてのヒトが、ビットでつながり（=Interop）、その背後には力強い人工知能（=Intelligence）が常にアップデート・アップグレードされるのが前提の社会となることは、もはや明確な前提と捉えなければならぬのではないのでしょうか。

皆様には、6 桁の時代の新しい段階を迎えるInterop Tokyo の機会を最大限に活用していただき、最先端のオンライン& デジタルファーストでグローバルなデジタルエコノミーが牽引する最新の技術・ビジネスの動向と現状を把握し、21 世紀の第2 四半期の社会・産業革命を生き抜くために必要な、知見を獲得する機会となれば幸いです。



Interop Tokyo 2026 実行委員長
慶應義塾大学
村井 純



Interop Tokyo
カンファレンス プログラム委員会 議長
東京大学大学院
情報理工学系研究科 教授
江崎 浩



■主要講演情報《要約》

- ・AI/ 生成AI [AI/ 生成AI、AI インフラ、AI エージェント、フィジカルAI]
- ・ネットワーク [ネットワーク、Wi-Fi、NTN、Segment Routing、データセンター、クラウド、APN(All-Photonics Network)、ShowNet]
- ・セキュリティ
- ・ワット・ビット連携
- ・IT 戦略 [IT 戦略、DX/ デジタル変革、ID 関連技術、量子関連技術、経済安全保障、人材育成]

■おすすめ講演情報《要約》

○ワット・ビット連携

YE1-01 ワット・ビット連携(1) : データセンター最新技術 in 2026

YE1-02 ワット・ビット連携(2) : データセンター・デジタルインフラ ~ 最新 実証プロジェクトと将来展開 ~

YE1-03 ワット・ビット連携(3) : IOWN キャンパス構想

YB2-02 ワット・ビット連携(4) : 電力のメ
ルカリ化は可能か? ~ 北海道と九州で始まる
"ワットの地産地消" 革命

~捨てられる再エネを地域で使い切る、
インター・マイクログリッドが拓くプロ
シューマー経済~

YB3-02 ワット・ビット連携(5) :

脱炭素、地方創生、エネルギー/ データーの
地産地消は本当に推進できるのか?

○AI : ビジネス戦略

YD1-01 さくらインターネット田中邦裕
のAI 戦略2026

YC3-02 「DX レポート」の真実とアップ
デートin2026 ~ AI ネイティブ時代の技
術・経営戦略

○AI : セキュリティ

YC1-02 生成AI によるサイバー攻撃動向
[前編] ~何を信じればよいのか。生成AI により
劇的に変わる脅威の現状と対策~

YC1-03 生成AI によるサイバー攻撃動向
[後編] ~人だけでなく、データ、サービスに
アクセスする全てに求められるID 管理~

YA2-01 AI エージェントが変えるセキュリ
ティ運用 ~人を助ける、高度化、効率化、高
精度化にむけて~

YA2-03 実践AI セキュリティ2026 ~組
織で実装可能なAI セキュリティの実務知識
~

○AI : ネットワークインフラ

YE2-01 なぜグローバル企業はクラウドか
ら『プライベートAI 基盤』へ回帰するのか
~帯域コストと閉域性を両立するインフラ
の再定義~

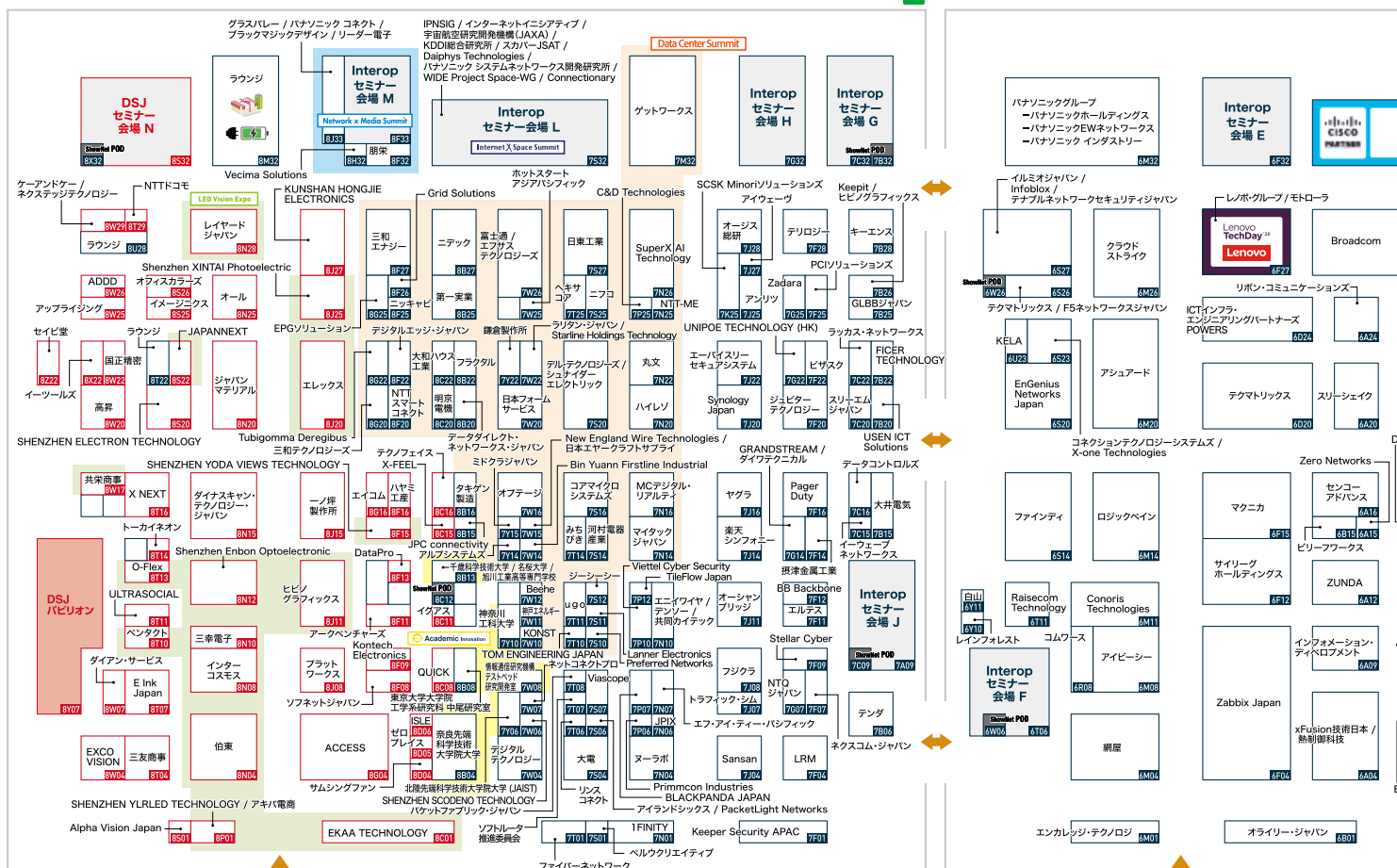
YE2-02 AI 時代のインフラ戦略1 :
GPUaaS プロバイダとユーザー企業をつ
なぐ

YE2-03 AI 時代のインフラ戦略2 : IP over
DWDM ~データセンターインターコネク
ト~

YC2-03 Ultra Ethernet 最新動向 ~大規
模AI データセンターネットワーク~

○フィジカルAI

YC3-03 フィジカルAI 本格実装 ~VLA・
模倣学習・双腕データ・説明可能AI・ヒュー



FDI · 2026 · 06